

electro-harmonix

SUPER SPACE DRUM

Analog Drum Synthesizer

1979年に発売されたElectro-HarmonixのSuper Space Drumの忠実なリイシューであるSuper Space Drum(SSD)をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。Super Space Drumはゲーテッド・ボリューム・アンプが付随するオシレーター・モジュレートなどのアナログ・シンセサイザー技術を使用し、ダイナミックなキック、ハイタム、サイファイドラムなど幅広いドラムサウンドを生み出します。SSDは本体上のボタンもしくは外部の電子ドラムパッド(MIDI非対応)を使用してトリガーが可能です。またAUXインプットに外部音源を入力しSSDのゲーテッド・アンプを通すことも可能です。

注意: Super Space DrumはElectro-Harmonix 9.6DC-200アダプター-Boss® や Ibanez®と同じ9.6 Volts DC 200mA)が付属いたします。SSDの消費電力は9VDCセンターマイナス/25mAです。間違ったアダプターを使用されますと破損の原因となり、保証対象外となりますのでご注意ください。

— コントロール —

FREQ(フリークエンシー) コントロール - STARTノブとSTOPノブを調整しシンセサイザーのスイープの開始の周波数と終わりの周波数をセッティングします。

START(スタート) コントロール - 周波数スイープの開始地点を設定します。スイープの開始地点を20Hz(反時計回りいっぱいの状態)から4kHz(時計回りいっぱい)の間に設定することができます。

STOP(ストップ) コントロール - 周波数スイープの終了地点を設定します。スイープの終了地点を20Hz(反時計回りいっぱいの状態)から4kHz(時計回りいっぱい)の間に設定することができます。

TIME(タイム) コントロール - スイープの開始地点から終了地点までどれくらいの時間を掛けてスイープするかを設定します。TIMEノブを時計回りに回すほどスイープタイムは遅くなります。スイープタイムは40msecから6secまで設定が可能です。

SENS(センシティブティ) コントロール - SSDの外部トリガーに対する感度をコントロールします。SENSノブを時計回りに回すほど感度は上がり、より低い外部トリガーからの信号でSSDのトリガーが可能になります。

VOLUME(ヴォリューム) コントロール - 出力ボリュームをコントロールします。ボリュームを時計回りに回すに従いボリュームが上がります。

MOD(モジュレーション) コントロール - MODコントロールはMODスイッチ、DEPTHコントロール、RATEコントロールで構成されています。MODコントロールを使用しアナログの魅力の幅を広げるLFOモジュレーション・ウェーブフォームをSSDの周波数スイープに加えることが可能です。

MOD(モジュレーション) スイッチ - モジュレーションのON/OFFスイッチです。

DEPTH(デプス) コントロール -モジュレーションの深さをコントロールします。このノブはセンタークリック付きです。12時にセットするとモジュレーションのDEPTHは0です。ノブを反時計回りに回しきった状態で最もマイナスの状態、時計回りに回しきった状態で最もプラスの状態となりますので、様々なDEPTHのセッティングをお試し下さい。プラスの波形はRATEを低くセッティングした際に、上昇していくノコギリの刃型の波形を持つリバースタイプのモジュレーションを作り出します。マイナスの波形は低いRATEセッティングの際に下降していくノコギリの刃型の波形を持つシャープなサウンドのモジュレーションを作り出します。

RATE(レイト) コントロール - モジュレーションのレイトをコントロールします。時計回りに回すとモジュレーションのレイトを10Hzから1.5kHzまで上げることが出来ます。高いRATEセッティングにするとリングモジュレーションサウンドを作り出します。

LED - SSDがON時に点灯します。外部トリガーからの信号を受信した際と、本体上のプッシュボタンを押した際にもLEDは瞬間的に点灯します。SSDをバッテリーで駆動する際には、バッテリーが消耗するとLEDが暗くなります。

プッシュボタントリガー - ロゴのセンターにある白いボタンです。このボタンでSSDをトリガーします。このボタンを押してすばらしいサウンドを奏てください。

－ 接続 －

OUTPUT ジャック - このフォンジャックはSSDのアウトプットです。アウトプットのインピーダンスは100Ωから25kΩまで変化します。

注意: SSDをバッテリーで使用する場合、アウトプットにプラグを差し込むことで電源が入ります。バッテリーの寿命を延ばすには、使用しないときにはアウトプットからプラグを抜いてください。

EXT. TRIG(エクスターナル・トリガー)ジャック - このフォンジャックは外部トリガーを入力するためのインプットです。TSプラグ/ケーブルを使用したトリガーの使用をお勧めしますが、プラグのTIPからトリガー信号が出力されるTRSプラグを使用したトリガーも使用出来るケースもあります。インプットのインピーダンスは2MΩです。

SSDはプラスのパルス信号、もしくは3V~15V、+/- 3V~+/-8Vの間で駆動するクロック信号によってトリガーすることが出来ます。この電圧範囲内のほぼ全てのタイプのゲート信号、クロック信号、トリガー信号でトリガーすることが可能です。使用可能な信号の例としては、電子ドラムトリガーパッドなどのトリガー信号、EHX Clockworksの電子パルス信号、EHX 8 Step Programのクロック信号、シンセサイザーによって発せられるVトリガーなどのゲート信号、ドラムマシンのシンク信号などです。

注意: SSDはMIDIに対応していません。もしMIDIでSSDをトリガーする必要がある場合はMIDIのCV/Gateコンバーターをご使用ください。

AUX IN ジャック - 外部のサウンドソースを入力するためのインプットです。AUXインプットから入力された信号は、SSDのゲーテッド・アンプを通ります。このAUXインプットにプラグが接続されると、内部のオシレーターシンセサイザーはアウトプットから切り離されます。インプットのインピーダンスは2.2MΩです。

SSDのトリガーを使用しAUXインプットに入力した外部音源にゲートをかけます。SSDをトリガーする度に(本体上のボタンまたは外部トリガーを使用して)、AUXインプットに入力された信号がアウトプットジャックから出力されます。AUXに入力された信号のディケイをTIMEノブを使用して設定してください。

9V 電源ジャック - SSDは9Vバッテリーの使用も可能ですが、Electro-HarmonixのJP9.6DC-200 アダプターが付属しています。アダプターのアウトプットをSSD上面の9Vジャックに接続してください。SSDの消費電流は9V DC センターマイナス/25mAです。DC12Vの電源は使用しないで下さい。

－ 電池の交換について －

9Vバッテリーの交換の際には、底面の4本のネジを外して下さい。ネジを外すと底面のパネルが外れます。パネルを開けている時は中身を破損させる危険がありますので、サーキットボードに触れないようご注意ください。



正規輸入代理店

株式会社 キョーリツコーポレーション
カスタマーサポート

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-9-11
NEWS日本橋堀留町ビル 10F
TEL : 03-5614-4133 FAX : 03-5614-2166
E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp